

令和7年度事業計画書

公益社団法人アマヤドリ

I 事業期間

令和7年12月1日～令和8年11月30日

II 事業の方針

- ・若年男性のためのサポート付き住居を新設し、支援対象者を広げる。
- ・アマヤドリの主となる支援対象者である「ECHOユース」という言葉への認知を広げること、社会課題を広く一般市民に伝えていく。
- ・性別を問わず、「ECHOユース」に向けたアウトリーチに注力する。
- ・キッチンカーを活用した大学等アウトリーチ事業を開始し、受益者に確実にリーチする
- ・企業向けファンドレイジングに計画的に注力する。

III 事業の実施に関する事項

当法人は、家庭に居場所がない、家族を頼ることができない、青少年・母子等の保護を行い、メンタルケアやカウンセリングを実施し、青少年・母子等が、就業、生きがい、社会参画できる機会を提供することで、青少年・母子等の健全育成を図ることに寄与することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。

【相談サポート事業】

1)相談・同行支援

15歳から29歳の若者を対象に、相談用Googleフォーム、メール、電話、LINE、オンライン、対面での相談を行い必要に応じて各関係機関へ同行（神奈川県内）、オリジナルプログラムの提供、物資支援（対面支援可能な方）を行う。

2)ビジネスホテル等を活用した一時保護事業

すでに家出中であつたり、SNSや路上などで出会った見知らぬ人の家やネットカフェなどの危険な場所を転々しているという相談には、一刻も早く安心安全な居場所を確保することが必要となるため、ビジネスホテルなどを利用しての緊急保護を行う。

3)居住支援事業

以下を対象とし、住居の相談にのり、物件の紹介や不動産同行・一人暮らし後の見守りを行う。

- ・児童虐待を受けた者、児童養護施設出身者
- ・18歳から29歳の下記の住宅確保用配慮者
- ・子どもを養育している者
- ・DV（ドメスティック・バイオレンス）被害者
- ・犯罪被害者等
- ・生活困窮者
- ・東日本大震災による被災者

4)アウトリーチ事業

動画・画像コンテンツによるデジタル的なアプローチと、学校等での出張授業を通じたアウトリーチを行う。

また、アマヤドリの主となる支援対象者である「ECHOユース」という言葉の認知を広げること、社会課題を広く一般市民に伝えていく。

5)通所支援拠点事業

15歳から29歳の若年女性・母子を対象に、通所型の相談拠点を開設し、相談員による専門相談、相互交流の場を提供し、早期からの支援を行う。

【住居提供事業】

1)短期型シェアハウス事業（単身若年女性対象）

18歳から29歳の単身若年女性を対象に、定員3名のシェアハウスとして約3ヶ月間の住居を提供し、家事などの生活支援、相談・課題整理・目標設定面談、ソーシャルワークを基盤に、自立の準備段階の支援、自己理解の支援を行う。

2)短期型アパート事業（単身若年女性・若年母子対象）

18歳から29歳の単身若年女性・若年母子を対象に定員1世帯。家具家電完備、最低月に1回の面談サポートのある自立へ近い形でのアパート型の住居提供を行う。相談・課題整理・目標設定面談、ソーシャルワークを基盤に、自立の準備段階の支援、自己理解の支援を行う。

3)サポート付きシェアハウス事業（単身若年女性対象）

18歳から29歳の単身若年女性を対象に、定員3名のシェアハウスとして約1年間の住居を提供し、家事などの生活支援、相談・課題整理・目標設定面談、ソーシャルワークを基盤に、中長期的な居場所を決めていくための支援を行う。学生は卒業まで入居可能。

4)サポート付きシェアハウス事業（単身若年男対象）＜新規事業＞

18歳から29歳の単身若年男性を対象に、定員5名程度のシェアハウスとして約1年間の住居を提供し、家事などの生活支援、相談、課題整理・目標設定面談、ソーシャルワークを基盤に、中長期的な居場所を決めていくための支援を行う。学生は卒業まで入居可能。

【困難を抱えた女性と同伴児童に対する一時保護事業】

困難を抱える女性とその同伴児童を対象に、一時保護を行う。

【その他必要な活動】